

(2) 希臘教

(二) 新教

- (1) 日本基督教會
- (2) 組合教會
- (3) 日本聖公會
- (4) 浸禮教會
- (5) 美以教會 (美以監督教會、南美以教會、日本美以教會、三派合同)
- (6) 美晉教會
- (7) 福音教會
- (8) 同盟教會
- (9) 同胞教會
- (10) 普及福音教會
- (11) 宇宙神教
- (12) フレンド教會

- (13) 基督教會
- (14) クリスチアン
- (15) ヘプチベ教會
- (16) セブンス、デー、アドヴンスト
- (17) 福音路協教會
- (18) 救世軍
- (19) 布美教會
- (20) ラッター、デー、セイント基督教會
- (21) 公同教會
- (22) ゼリフ、オー、ムド、プロテスタント、チャーチ、オブ、イングランド
- (23) ユニテリアン

總計二教 二十五派

但し此の外佛基兩教共に無所屬派あり、猶又明に一宗一派と看做されてをらぬ宗教運動の團體がある。例へば、救世教(大道長安の)及び新佛教徒同志會

の様なものがある。殊に眞言臨濟諸派分離の盛んなる年々派數が増して行くのであるから、以上は唯概數を擧げたと見てもらひたい。

次に最近の調査に係る教勢の一斑を紹介しよう。(明治三十七年十二月末日内務省調査)

(一) 神 道

神社及び神官(但神宮を除く)

(1) 官幣大社	四三	一七四
(2) 官幣中社	二六	八八
(3) 官幣小社	三	八
(4) 別格官幣社	二三	七六五
(5) 國幣中社	四九	一五六
(6) 國幣小社	二六	六三
(7) 府縣社	五六六	九一五
(8) 郷社	三四四七	三六三一

(9) 村社	五二五〇六	八、七四三
(10) 格外社 <small>格現外社無</small>	一三六、一三九	一、〇九一
合計	一九二、八二九	一五、〇一七

(二) 佛 教

寺院及び僧侶(住職)

(1) 天台宗	四、七一 <small>寺院</small>	二七八九 <small>住職</small>
(2) 眞言宗	一二、七一七	七、七四一
(3) 淨土宗	八、三七一	六、一四九
(4) 臨濟宗	六、一四二	四、四一〇
(5) 曹洞宗	一四、二一七	九、四九九
(6) 黄蘗宗	五、六九	三、四七
(7) 眞宗	一九、四四九	一、五七八七
(8) 日蓮宗	五、〇七四	四、一八一

- (19) 福音路傍教會
- (18) 福音教會
- (17) 普及福音教會
- (16) 同胞教會
- (15) クリスチヤン
- (14) 基督教會
- (13) 同盟教會
- (12) 福音教會
- (11) 美普教會
- (10) 救世軍
- (9) 南美以教會
- (8) 日本美以教會
- (7) 浸禮教會
- (6) 美以監督教會

九 十 三 九 一 〇 一 三 九 一 八 一 九 一 六 二 七 四 二 五 九 七 九

三九 九 | 四五 二 一 六 〇 七 二 九 〇 一 九 七 六 〇 六 七 九 〇 九 一 九 一 四

- (9) 時宗 五一三
 - (10) 融通念佛宗 三六三
 - (11) 法相宗 四一
 - (12) 華嚴宗 三二
 - 合計 七二、一九一
 - (此の外境外佛堂三七、三八四あり)
- (三) 基督教
- 教會講義所及び傳道者
- (1) 日本聖公會 二一五
 - (2) 日本基督教會 一九五
 - (3) ハリストス正教 一一八
 - (4) 天主教 一五六
 - (5) 組合教會 一一三

二 傳道者(續)

二〇 九 一 八 一 九 一 九 一 五 一 八 三 五 九 二 五 五 一 五 一 八 三 五 九 二

五二、五四八 二〇八 一七 四〇八

- (20) フレンド教會
- (21) 宇宙神教
- (22) ヴェンチンスタール、フ
- (23) 布美教會
- (24) ヘブチバ教會
- (25) 其の他の教派
- (26) 無所屬

三 一 | 二 三 三 四

一 八二 一一 三 | 二二 三四 三四 三五

附録の二

佛教諸宗派本山一覽

律宗	奈良招提寺	本山名稱並所在地
三論宗	奈良元興寺	
法相宗	奈良興福寺	
華嚴宗	奈良東大寺	
天台宗	比叡山延暦寺(總本山)	
(一) 山門派(又は天台宗)	同	上
(二) 寺門派	近江國別所園城寺	
(三) 眞盛派	近江國阪本西教寺	
眞言宗		
(一) 眞言宗	京都教王護國寺(通稱)	

- (二) 御室派 京都仁和寺
- (三) 高野派 紀伊高野山金剛峰寺
- (四) 大覺寺派 京都大覺寺
- (五) 醍醐派 京都醍醐三寶院
- (六) 新義真言宗智山派 京都智積院
- (七) 同 豐山派 大和長谷寺
- (八) 真言律宗 大和奈良西大寺
- 融通念佛宗 攝津平野大念佛寺
- 時宗 相摸藤澤清淨光寺
- 淨土宗
- (一) 淨土宗 京都智恩院(總本山)
- (二) 西山派 京都誓願寺(外山)
- 禪宗
- (一) 臨濟宗

- (1) 天龍寺派 京都天龍寺村天龍寺
- (2) 相國寺派 京都相國寺(上京)
- (3) 建仁寺派 京都建仁寺(下京)
- (4) 南禪寺派 京都南禪寺
- (5) 妙心寺派 京都妙心寺
- (6) 建長寺派 鎌倉建長寺
- (7) 東福寺派 京都東福寺(下京)
- (8) 大德寺派 京都大德寺(大宮村)
- (9) 圓覺寺派 鎌倉圓覺寺
- (10) 永源寺派 近江永源寺
- (11) 佛通寺派 安藝佛通寺
- (12) 方廣寺派 遠江方廣寺
- (13) 國泰寺派 越中國泰寺
- (14) 向岳寺派 甲斐向岳寺

- (一) 曹洞宗 越前永平寺及能登總持寺
- (二) 黃蘗宗 山城宇治萬福寺

眞宗

- (一) 本願寺派 京都西本願寺(堀川)
- (二) 大谷派 京都東本願寺(烏丸)
- (三) 專修寺派(高田派) 伊勢專修寺
- (四) 錦織寺派(木邊派) 近江錦織寺
- (五) 興正寺派 京都興正寺
- (六) 佛光寺派 京都佛光寺
- (七) 出雲路派 越前毫攝寺(清水村)
- (八) 山元派 越前證誠寺(横越村)
- (九) 誠照寺派 越前誠照寺(鯖江町)
- (一〇) 三門徒派 越前專照寺(福井市)

日蓮宗

- (一) 日蓮宗 甲斐久遠寺(身延山)(總本山)
- (二) 顯本法華宗 京都妙滿寺
- (三) 本門宗 駿河大石寺
- (四) 本門法華宗 京都本能寺(等)
- (五) 法華宗 越後本成寺(蒲原郡)
- (六) 本妙法華宗 京都本隆寺
- (七) 不受不施派 備後妙覺寺(金川村)
- (八) 不受不施講門派 備前龍華教院(金川村)

注意。京都奈良とあるは市のみを指さず其の附近をも含めていへり。

附録の三

宗教名教

- 神の獨子 キリスト
- 獨一眞神 エホバ
- 一 乘 菩薩乘
- 一 乘法 法華經
- 二 神 イザナキイザナミ 諾冊の二柱の神
- 二 尊 釋尊 慈尊(釋迦と慈氏)
- 二 諦 眞諦 俗諦
- 二 足尊 釋迦
- 二 部 上座部 大衆部

- 善惡二神 アフラマヅダ アーリマン
- 三 教 神 儒 佛
- 三 聖 老子 孔子 顏回
- 同 孔子 釋迦 基督
- 三種現體 梵天 シヴ ヲキシヌ
- 三 社 伊勢 石清水 賀茂
- 三 皇 伏羲 神農 黃帝
- 造化三神 天御中主神 高御産巢日神 神産巢日神
- 三大全 四書大全 五經大全 性理大全
- 三 尊 阿彌陀 觀音 勢至
- 同 釋迦 文殊 普賢
- 三 子 老子 莊子 列子
- 三部神道 唯一宗源 兩部習合 本迹縁起

三位一體 父子 聖靈
 日本三戒壇 奈良東大寺 下野藥師寺 筑前觀世音寺
 三達德 智仁 勇
 南都三會 興福寺維摩會 藥師寺最勝會 大極殿御齋會
 三網 僧正 僧都 律師
 三途 火途 血途 刀途
 三神山 蓬萊 方丈 瀛洲
 三衣 大衣 五條 七條
 春秋三傳 左氏傳 公羊傳 穀梁傳
 三杵 五鈷 三鈷 獨鈷
 三易 連山 歸藏 周易
 三門 教 律 禪
 三界 欲界 色界 無色界
 三大部 立義 文句 止觀(共に智者大師の著)

三世 過去 現在 未來
 三寶 佛法 僧
 三才 天地 人
 三身 法身 報身 應身
 三學 戒 定 慧
 三藏 經藏 律藏 論藏
 三乘 聲聞 緣覺 菩薩
 三法印 諸行無常 諸法無我 涅槃寂靜
 三密 身密 語密 意密
 三福音書 馬太傳 馬可傳 路加傳
 三毒 貪欲 瞋恚 愚痴
 三苦 苦苦 壞苦 行苦
 三魔女 悅彼 喜心 多媚
 三田 教田 恩田 悲田

三 明 宿命通 天眼通 漏盡通
 三 緣 衆生緣 法緣 無緣
 三 德 法身 般若 解脫
 三 惡道 地獄 餓鬼 畜生
 四
 四 諦 苦諦 集諦 滅諦 道諦
 四 吠陀 ヲグ サマ ヤジニール アタルヴ
 四 福音書 三福音書 約翰傳
 四 子 孔子 曾子 子思 孟子
 四 書 大學 中庸 論語 孟子
 四 姓 波羅門 刹帝利 毘舍 首陀
 四 天王 持國天(東) 廣目天(西) 增長天(南) 多聞天(北)
 四 兵 象 馬 車 步
 四 端 惻隱 羞惡 辭讓 是非

四 相 成 住 壞 空
 四 德 常 樂 我 淨
 四 禮 冠 婚 葬 祭
 四 苦 生 老 病 死
 四 大 地 水 火 風
 五
 地神五代 天照大御神 忍穗耳尊 瓊々杵尊 彥火々出見尊 鵜草葺不
 合尊
 五 明 聲明 工巧明 醫方明 因明 內明
 五 山 天龍寺 相國寺 建仁寺 東福寺 萬壽寺
 鎌倉五山 建長寺 圓覺寺 壽福寺 淨智寺 淨妙寺
 天笠五山 祇洹精舍 竹林精舍 大林精舍 誓陀林精舍 那爛陀寺
 支那五山 經山寺 育王寺 天龍寺 靈隱寺 淨慈寺
 五智如來 大日 阿闍 寶生 彌陀 釋迦

五 經詩書易春秋禮記
 春秋五傳左氏公羊穀梁鄒氏夾氏
 五 蘊四大空
 五 戒不殺生不偷盜不邪淫不妄語不飲酒
 五 逆殺父殺母殺阿羅漢破和合僧出佛身血
 五 渴劫見命煩惱衆生
 五 塵色聲香味觸
 五 倫君臣父子夫婦兄弟朋友
 五 常仁義禮智信
 五行木火土金水
 五部書 倭姬世紀 御鎮座次第記 御鎮座本記 御鎮座傳記 寶基本記
 五つの巻物 雅歌 路得記 哀歌 傳道の書 以士帖記

六師外道 厄耶也 吠世史迦 僧佉 瑜伽 弭曼差 吠檀多
 六地藏 延命 寶處 寶手 持地 寶印 堅固意
 六宗 三論 法相 華嚴 律 俱舍 成實
 六老僧 日昭 日朗 日興 日向 日頂 日持
 詩六義 風賦 比興 雅頌
 六藝 禮樂射御書數
 六齊日 八日 十四日 十五日 二十三日 二十七日 晦日
 六度 五大識
 六度 布施 持戒 忍辱 精進 禪定 智慧
 六道 三惡道 修羅 人間 天上
 六時 晨朝 日中 日沒 初夜 中夜 後夜
 六波羅密 六度に同じ
 六合 東西南北天地

七

南都七大寺 東大寺 興福寺 西大寺 元興寺 大安寺 藥師寺 法隆寺

七堂伽藍 三門 佛殿 法堂 方丈 食堂 浴室 東司

(或は) 庫裏 總堂 西淨 山門 八塔 佛殿 湯屋

七 寶 種々の説あり

金 銀 琉璃 玻璃 瑪瑙 金剛

金 銀 珊瑚 眞珠 明月尼 摩尼 硨磲

金 銀 瑠璃 硨磲 瑪瑙 玻璃 眞珠

八

八 正道 正信 正意 正語 正業 正命 正精進 正念 正定

八 音 金石 絲竹 匏土 草木

八 宗 六宗 天台 眞言

八 大地獄 等活 黑繩 衆合 叫喚 大叫喚 焦熱 大焦熱 無間

八 苦 四苦 愛別離 怨憎會 求不得 五盛陰
八 識 眼 耳 鼻 舌 身 意 末那 阿頼耶
八 部衆 天龍 夜叉 乾達婆 阿修羅 迦樓羅 緊那羅 摩睺羅伽
人非人

九

九 經 五經 公羊傳 穀梁傳 周禮 儀禮

十

十 哲 顏回 閔子騫 冉伯牛 仲弓 宰我 子貢 冉有 子路 子游 子夏

十大弟子 大迦葉 阿難 舍利弗 目犍連 阿那律 須菩提 富樓那

迦旃延 優婆離 羅睺羅

十 善 放生 施食 梵行 實語 直語 軟語 和合觀 不淨觀 慈

悲觀 因緣觀

十 惡 謀反 謀大逆 謀叛 惡逆 不道 大不敬 不孝 不義 不

陸 内亂

- 十 界 六道 聲聞 緣覺 菩薩 佛
- 十 誠 モーゼの十誠 (第八章第一節を見よ)
- 十 宗 八宗 禪 淨土
- 十 戒 五戒 不著香華鬘不香塗身 不歌舞倡妓不往觀聽 不座高廣 大牀 不非時食 不捉持生像金銀寶物

十二

- 十二 因緣 無明 行 識 名色 六入 觸 受 愛 取 有 生 老死
- 十二 使徒 ベテロ アンデレ ヤコブ ヨハネ ビリポ バルトロマイ マタイ トマス ヤコブ(アルバイの子) シモン(ゼロデと云へる) ユダ(ヤコブの兄弟) ユダ(イスカリオテの)
- 十二 部書 五部書 天口事書 古老口實傳 御奉仕記 御鎮座本記 機殿規式帳 心御柱記 神風抄
- 春秋十二國 齊 宋 晉 秦 楚 吳 越 魯 衛 鄭 陳 燕

十三

- 十三 經 周易 毛詩 尚書 禮記 周禮 儀禮 左氏傳 公羊傳 穀梁傳 孝經 爾雅 論語 孟子

十六

- 十六 善神 四天王 十二神將
- 十六 羅漢 賓頭盧 迦那迦 跋蹉 頗羅陀 須跋陀 那俱羅 律陀 迦羅 瞿波 半陀羅睺 那伽斯那 應期多 波那波斯 阿逸多 周羅槃特

二十一

- 二十一 社 伊勢 石清水 賀茂 松尾 平野 稻荷 春日 大原野 大神 石上 大和 廣瀬 龍田 住吉 壬生 貴船 吉田 廣田 北野 梅宮 祇園

二十五

- 二十五 菩薩 觀音 勢至 藥王 藥上 普賢 文殊 師子吼 陀羅尼

虛空藏 德藏 寶藏 山海慧 金剛 金藏 光明王 華嚴王
 珠寶王 日照王 月光王 三昧王 誠自在王 大自在王
 白宮王 大威德王 無邊身
 二十八

二十八神
 迦葉 阿難 商那和修 優婆塞多 提迦多 彌遮迦 佛陀難
 提 佛陀密多 脇比丘 富那奢 馬鳴 龍樹 提婆 羅喉
 僧伽難提 僧伽那奢 鳩摩羅陀 闍夜那 槃陀 摩奴羅 鶴
 勒 夜馱那 師子 婆須密多 婆舍斯多 不如密多 槃若多
 羅 菩提達磨

(附註)宗教に關する名數は非常に多い。殊に佛教には非常に浩瀚な名數のみを集めた大部の著述がある。今は唯實用上重要なもので、思ひついたのを少し許舉げたに過ぎぬのである。而して神道に關するものも便宜上附記して置いた。

宗教大系終

明治四十二年十二月十五日印刷
 明治四十二年十二月二十日發行

宗教大系
 定價金四拾錢

著 者 大 屋 德 城

發 行 者 山 縣 文 夫

東京府下北豐島郡巢鴨町大字上駒込十九番地

印 刷 者 藤 本 兼 吉

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

印 刷 所 株式會社 秀英舎第一工場

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

不 許
 復 製

發行所

東京巢鴨町上駒込二十番地
 電話下谷(長距離加入)四百三十八番
 振替貯金口座東京三五五番

内外出版協會

釋迦の著者家が庭
と著新るせは著にめ爲のと

著者曩に世界三聖傳中の『釋迦』を著はすや、當代の快著として讀書界に歓迎せられ、噴々たる高評の聲今に四方に聞ゆ。本書は著者が興味に富みて而も善良なる讀み物の缺乏を感ずる家庭と、未だ多く佛典の内容を知らざる讀書家との爲めに著はせる新著にして、材を浩瀚なる佛典の中に取り、豊富なる趣味の間に掬めども盡さぬ聖訓の含まれたる物語二十八篇をやさしく美しき言葉に書き和らげたるものなり。是れ蓋し我が國未だ會て有らざる所の試みにして、讀者は之に依りていとも清新なる感興を得ると共に、樂んで聖教の妙旨を味ふことを得べし。附録佛陀及び佛陀の教は釋迦の略傳にして又佛教の概説なり。

通俗佛典物語

大屋徳城編著 全三冊 第一編發兌 各冊定價金拾圓 郵稅四錢

東京 振替 貯金 口座 東 第 三 百 五 十 五 番 內 郵 縣 山 中 傳 井 染 區 便 郵 鴨 巢 京 東 會 協 版 出 外 內 元 版

大屋徳城編著

釋 迦

再版 改正定價金壹圓貳拾錢 郵稅貳錢

時事新報 明治四十二年 四月十四日 文藝週報批評

釋 迦 (菊版三百二十八頁、布表紙)

本書は一名「佛陀及佛陀を中心としたる佛教文學の概観」と稱すれば、單に佛陀の傳記とのみ見る可からず、主要の點は後者に在るが如し。即ち本書の内容は佛陀及其時代、佛陀の聖訓、佛陀と釋迦、佛陀と本生説話、佛陀と説法、佛陀と神話、大乘教典に現はれたる佛陀の面影及餘論の八章より成れるが、『佛陀』を唱ふるに至りし所以を示し、次に、迦毘羅城に於ける佛陀の降誕より、山野の苦行、菩提樹下の冥想を経て、遂に解脱成道を通じて、佛陀の大光明を發揮し、鹿野苑、竹林、祇園精舍に大法輪を轉じて、普く衆生を濟度し、地球上、無窮の法燈を傳へたる後、終に沙羅雙樹の下に入寂せられたる事跡を、快利にして趣味ある筆を以て叙述し、夫れより「佛陀の聖訓」に於ては、佛陀が海水一味の譬喩を以て、其弟子が印度に於ける階級上の弊風を脱せざるを戒めたることを始めとして、種々の教訓を垂れたる事どもを記し、「佛陀と釋迦」にも、佛陀が俗談平語を以て説法を有効ならしめたることを叙せるが、其一斑として引例したる所を見るも、興趣頗る深きものあり、其内にも、是等の譬喩中、印度の自然美を描き出したる所など、殊に文學上に價值多きが如し。又「佛陀と本性説話」の章は、本性説話の來歴を説きて、其一部を漢譯、四藏譯等の經文より抽出し、異同を示すと共に、説話の傳説甚だ弘き事實をも述べ、「大乘經典に現はれたる佛陀の面影」に於て、大乘經典の構造、維摩經の梗概を示し、更に諸經典より佛陀の真相を明かにす可き事實を引例したり。本書の一斑は、凡そ右の如くなるが、著者は佛敎家として學問の造詣深く、漢譯佛典は勿論、東西各種の佛書に通じ居れるものゝ如く、評論頗る犀利にして、讀者の感興を牽くもの多きは喜ぶべし。要するに本書は、門外漢をして佛敎の何ものたるかを知らしむるに頗る適切の著述にして、又最も信ず可き書籍なるを疑はず。

東京 振替 貯金 口座 東 第 三 百 五 十 五 番 內 郵 縣 山 中 傳 井 染 區 便 郵 鴨 巢 京 東 會 協 版 出 外 內 元 版

著編赴本松

基督

錢貳拾稅郵 錢拾貳圓壹金價定正改 版再

『護教』批評

世界三聖傳の一として『基督』出てぬ、著者は誰ぞ、曩にシエンキエツチ作『何處に往く』を譯し文名を知られたる松本氏なり。至聖基督を傳せんとせば、著者先づ深く彼を渴仰し憧憬し、彼の人格に觸れ彼の精神を攝取せざるべからず。若し著者にして此の域を去ること遠からんか、其の材料は如何に豊富なりとも、其の評論は如何に犀利を極むとも、是れ死せるナザレの一工匠を奮くに過ぎず、活ける基督の胸臆に宿れる神識靈覺は焉ぞ此の如くにして傳ふべけんや。著者松本氏は弱冠にして信仰の門に入り、諸先輩に私淑して心靈上修むる所淺からず、ますます基督教の堂奥に達せんと欲して潜心基督の生涯を研究し、其の結果を發表せるもの本書即ち是れなり。著者の如きは洵に基督を傳するに適せりと謂ふべし。著者は重もに材料をデイン・フアラーの『基督傳』及びアピッド・スミスの『基督在世の時』に採り、簡潔なる筆を以て趣味深く記述せり。我が邦未だ完全の基督傳あらず、竹越氏の『基督の傳記』海老名氏の『基督傳』ストーカ、ニコル、ブローダス、ルナン等の譯書等稍見るに足るものありと雖も、繁簡宜しきを得て中正不偏なるもの、少きを憾みとす。此の時に當り本書の出版ありしは、基督教文學の爲めに慶賀せざるを得ず。惟よに基督傳の研究は、直ちに基督教の中心に接觸し、堅實なる信仰を樹立するの基たるべし、吾人は此の良書を世に推薦するに躊躇せざるなり。……

會協版出外内 内郵縣山井染區便郵鶴巢京東 番五十五百三第京東座口金貯 元版

刊新

舊約聖書物語

シエルトン原著

宮崎八百吉譯

錢拾六金價定

錢六稅郵

舊約聖書を姑らく一の文學的著作として見るときは、世界に屈指の興味豊富なる物語である。文學者の著作に超絶した太文學である。されば普通人は頭初から、聖書など云ふものは難解しいばかりで面白味のない西洋の經文だらゝに考へて讀まうとしないが、實は少しく文學を解する者が之を繙いた日には、其の興味の豊富なる尋常小説の類でなく、殆んど耽讀といふくらゐに面白く讀まれるのである。舊約聖書と新約聖書とは、共に歐米の文明と文學との源泉であるが、之を通讀する興味に於ては舊約聖書の方が殊に優つて居る。何となれば新約聖書は基督一人の事蹟に就いて記した書であるが、舊約聖書は天地創造の初めから、多くの豫言者、偉人の事蹟に就いて記した書であるからである。人生れて文學を解しながら聖書を讀まないて居るのは、當人の一大損失である。本書の原書は米國に於て普通讀者の爲めに著はされ、多くの部數を發賣した有名な書であるが、今之を宮崎湖處子の勞に依つて新刊するに至つた。未だ聖書の内容を知らない人は、大人と少年とを問はず速に一讀あらんことを勧めする。

會協版出外内 内郵縣山井染區便郵鶴巢京東 番五十五百三第京東座口金貯 元版

西脇玉峯和譯

通俗論語

錢八稅郵 圓壹金價定 (成完册五全)

此書出でて論語の内容
は中學生にも商家の子弟
にも遺憾なく解せらる

論語は天地間第一の書、東洋道德の最高經典なり。本書論語の全文を平明通俗なる時文に譯し、欄頭原文を掲ぐ。譯文能く原文の意義精神を發揮して遺憾なく、言々句句々悉く格言的なり。近時識者の論語を精讀し、之を以て修養の師となすもの少なからず。今「通俗論語」新たに出て、論語の感化に浴する者これより益す多きに至らば、即ち遂に憂ふべき現代人心の傾向を一變するを得むか。

又夫の都鄙の善良なる
家庭に於て戸々此書を
誦するの聲あらしめよ

東 京 振 替 貯 金 口 座 東 京 三 井 染 井 傳 山 縣 郵 便 區 郵 政 局 內 郵 番 五 十 五 番 會 協 版 出 外 內 元 版

西脇玉峯編著

孔子

錢貳拾稅郵 圓壹金價定正改 版再

「東亞之光」批評

著者序して曰く、徳は永へに二千載の今に輝き、道は長く東亞の地を照し、之を仰げば彌々高く、之を望めば愈々大なるものは豈孔子の道徳にあらずや。然れ、遂に此の東亞特有の道徳あるを忘れ、或る者は狼りに泰西の文物輸入に易へんとし、或者は反道徳主義を唱道し、甚だしきに至りては人を半獸的に導かんとする者さへあるもの、如し。此時此際著者深く慨する所あり、積年の研鑽を披瀝して以て東亞特有の道徳を振興せんと欲し、乃ち「世界三聖傳」の一として大聖孔子の言行を詳記したるもの本書なり。章を分つこと二十、春秋時代の孔子の成育、孔子の講學、孔子の遊齊、孔子の相事、孔子の周遊、孔子の交遊、孔子の隱者、孔子の門人、孔子の子孫、孔子の刪潤、孔子の聖人、孔子の終焉、孔子の人格、孔子の感化、孔子の哲學、孔子の倫理、孔子の政事、孔子の教育、孔子の文藝是なり。而して引證するに、一々聖經の言、賢傳の語を以てし、且つ原文を和譯して漢學の素養なき者をして讀み易からしむるなど用意周到なり。特に本書に於て著者の新説として見るべきは、「孔子の人格」の章下に宗教的感情の一節を設けて、彼の怪力亂神を語らずと云へる言を以て、孔子は現代的倫理道徳の實踐者にして此の宗教的信念なしと言ふ者あるに反して、孔子は確乎不拔の宗教的信念を有す。而して其の究竟的信念は所謂天なりと断定せるが如き、又「孔子の哲學」の章下に於て彼の教を一貫する道に於て世の學者或は忠恕なりと言ひ、或は仁なりと言ひ、其の甚だしきに至りては中庸、仁、禮の三者なりと言ひ、或は仁なりと言ひ、其の孔子の至大なる禮と仁との道を一貫するものは、宜しく思慮を超越せる絶大なるものに求めざるべからず、孔子が其の絶大なるものとして篤く之を信せるものは、唯天あるのみと言ひて、遂に彼が教を一貫する道を天に歸し、以て其の哲學の根本原理に斷案を下したるが如きに在りて、是れ實に著者積年研鑽の心血を凝きたる所なりとす。其他孔子が隱者に對する態度、老子に接したる態度の如きに就いては、皆古來學者の見所と多少の異あり。以て著者の造詣を知るべきなり。苟くも將來東亞の道徳を振興せんと欲する者は、先づ孔子を研究せざるべからず、孔子を研究せんと欲する者は、宜しく先づ本書より入るを要す。吾人は世の教育家、宗教家、將た養徳に意あるの諸士に本書を推薦す。

東 京 振 替 貯 金 口 座 東 京 三 井 染 井 傳 山 縣 郵 便 區 郵 政 局 內 郵 番 五 十 五 番 會 協 版 出 外 內 元 版

秋山悟庵譯編

佛典國字解

英國の東洋學者ビール氏曾て曰く、「四十二章經は純粹の倫理的性質を有す」と。また井上巽軒博士も「四十二章經は極めて簡單なれども、其の内容は頗る饒かなり。蓋し小乘を基礎として大乘の説を交へたるものにして、何人も必ず一讀せざるべからず」と言はれた。實に同經は佛教初學者の是非共一讀せねばならぬものである。著者其の豫ての素志

第四十二章經

定價金貳拾錢
郵稅四錢

たる佛典和譯の第一着手として、茲に同經の全文を和譯す。多年佛教研鑽の結果、諸經を咀嚼し盡せる著者が、其の老熟せる筆を以て極めて平易に通俗的に譯述したのであれば、何人にも讀んで解し難いといふことは無い。最も容易に佛陀の聖訓に浴し、佛教倫理の要を知らんと欲する者は本書に來れ。

版元 東京 芝罘 膠州 濟南 濰縣 煙台 青島 漢口 蕪湖 寧波 蘇州 杭州 揚州 廣州 汕頭 廈門 福州 廈門 汕頭 廣州 香港

内外出版協會發兌書目

一。修養書類

博士スライル原著	職分	論	定價金四拾錢	郵稅四錢	文學士竹村修譯	久格に如何養成か	定價金拾五錢
博士スライル原著	品性	論	定價金四拾錢	郵稅四錢	河面山四郎譯	天眞の生涯	定價金四拾錢
博士スライル原著	勤儉	論	定價金四拾錢	郵稅四錢	吉川潤二郎譯	向上の生涯	定價金五拾錢
博士スライル原著	自助	論	定價金四拾錢	郵稅四錢	文學士竹村修譯	青春の佳期	定價金八拾錢
博士スライル原著	勞働	論	定價金五拾錢	郵稅六錢	前田定之介譯	如何で慰安を求む	定價金拾四錢
博士スライル原著	克己	論	定價金六拾錢	郵稅八錢	内外出版協會譯	修養全書	定價金二拾錢
博士スライル原著	青年	訓	定價金四拾錢	郵稅四錢	内外出版協會譯	理想の紳士	定價金拾五錢
博士スライル原著	人生	訓	定價金四拾錢	郵稅四錢	アフレラ原著	人道と天道	定價金拾四錢
内外出版協會譯	日本自助論	論	定價金四拾錢	郵稅四錢	ヘレン・ケラー原著	樂天主義	定價金貳拾五錢
内外出版協會譯	人生の行路	論	定價金四拾錢	郵稅四錢	文學士藤原秀峰譯	廿世紀の武士道	定價金拾四錢
吉川潤二郎譯	人生の實務	論	定價金五拾錢	郵稅六錢	内外出版協會譯	わが青年	定價金拾四錢
吉川潤二郎譯	人生の福音	論	定價金五拾錢	郵稅六錢	文學士村上池淵譯	社會の要する少年	定價金拾五錢
大原英次郎譯	人生の福音	論	定價金五拾錢	郵稅六錢	文學士藤原秀峰譯	ロイズヴェルト集	定價金四拾錢
					若宮卯之助譯	座右銘	定價金四拾錢

内村 監 三 英和 對照 偉人と讀書 定價金拾五錢

文學士 中村 陽山 日常 生活 行爲の標準 定價金貳拾錢

中里 介山 編著 克己制慾の實例 定價金貳拾五錢

水島 靜庵 編著 日常生活の勇士 定價金貳拾五錢

若宮 卯之助 譯述 廿世紀の青年と告 定價金拾四錢

内外出版協會 編纂 歐米の新思潮 定價金四拾六錢

ストロンク 原著 文學士 昔川 正徳 譯述 時勢と青年 定價金四拾錢

占部 百太郎 著 青年の修養 定價金貳拾五錢

宮崎 右夫 著 貧の朋友 定價金拾五錢

七ノヤ 原著 文學士 若月 保治 譯述 立志の動機 定價金五拾錢

好本 實 譯述 教育上の常識 定價金貳拾五錢

本田 増次郎 譯述 婦人の修養 定價金五拾錢

落合 汎雄 譯述 婦女小訓 定價金貳拾五錢

加藤 眠柳 編著 女子立志編 定價金拾五錢

内外出版協會 編纂 人生問題叢書 定價金九拾錢

二。成功書類 博士 マーアン 原著 文學士 竹村 修 譯述 實業に就く青年 定價金 壹圓

文學士 竹村 修 譯述 コップ 原著 商業の模範的經營 定價金 六拾錢

博士 マーアン 原著 内外出版協會 譯述 成功の基礎 定價金 拾四錢

博士 クラフツ 原著 内外出版協會 譯述 眞正の成功者 定價金 五拾六錢

博士 マーアン 原著 文學士 竹村 修 譯述 成功 定價金 壹圓

博士 マシキニス 原著 内外出版協會 譯述 成功論 定價金 拾五錢

アルダーソン 原著 文學士 生田 弘 譯述 成功の福音 定價金 拾四錢

マススター オブ アーツ 松岡 正男 譯述 失敗の成功 定價金 拾二錢

三。傳記書類 三ノカ 生 涯 定價金 五拾六錢

ヘレン・ケラー 原著 文學士 昔川 正徳 譯述 わが生涯 定價金 拾五錢

山縣 妙三 原著 及 び 其 の 人 物 業 定價金 拾四錢

松村 巖 著 岩崎 彌太郎 現代名流自傳 定價金 拾五錢

新公 論社 編纂 渡邊 修二 郎 著 木内 惣五郎 實錄 定價金 拾四錢

山田 妙 著 アギナルド 定價金 五拾六錢

吉川 曾水 著 チエンバーレン 定價金 貳拾錢

坂井 久瓦 著 明治 崎人 傳 定價金 貳拾五錢

松村 巖 著 近々 藤 勇 定價金 貳拾五錢

四。言行録

村上 賢 譯述 第一 リンコン 言行録 定價金 拾四錢

中里 介山 編著 第二 トルストイ 言行録 定價金 拾四錢

中里 介山 編著 第三 ガーフィールド 言行録 定價金 拾四錢

中里 介山 編著 第四 フランクリン 言行録 定價金 拾四錢

村上 賢 譯述 第五 グランドストン 言行録 定價金 貳拾五錢

中里 介山 編著 第六 二宮 尊徳 言行録 定價金 拾四錢

加藤 信正 編著 第七 ローズヴェルト 言行録 定價金 拾四錢

百島 操 編著 第八 フシントン 言行録 定價金 拾四錢

渡邊 修二 郎 編著 第九 山鹿 素行 言行録 定價金 拾四錢

中里 介山 編著 第十 中江 藤樹 言行録 定價金 拾四錢

定價金 壹圓

定價金 六拾錢

定價金 拾四錢

定價金 五拾六錢

定價金 壹圓

定價金 拾五錢

定價金 拾四錢

定價金 拾二錢

定價金 五拾六錢

定價金 拾五錢

定價金 拾四錢

定價金 拾五錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

定價金 拾四錢

概不二火編著 第六編 伊藤仁齋言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	本島 敬 編著 第一編 本居宣長言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	本島 敬 編著 第二編 上杉鷹山言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	杉原三吉編著 第三編 高野長英言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	勝水瓊泉編著 第四編 大鹽平八郎言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	大屋徳城編著 第五編 傳教大師言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	田中豊松編著 第六編 シーザー言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	佐久間原編著 第七編 シェイクスピア言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	波邊芳雄編著 第八編 ラスキーン言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	武安衛編著 第九編 孟子言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	大橋長一編著 第十編 山崎闇齋言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	五。家庭書類 附婦女及少年少女書類		丸島 敬 編著 第一編 本居宣長言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	秋山悟庵編著 第二編 上杉鷹山言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	杉原三吉編著 第三編 高野長英言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	勝水瓊泉編著 第四編 大鹽平八郎言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	大屋徳城編著 第五編 傳教大師言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	田中豊松編著 第六編 シーザー言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	佐久間原編著 第七編 シェイクスピア言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	波邊芳雄編著 第八編 ラスキーン言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	武安衛編著 第九編 孟子言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	大橋長一編著 第十編 山崎闇齋言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	松本越編著 第十編 マホメット言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	廣瀬勸次郎編著 第九編 ガリバルディ言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	松原重文編著 第八編 西郷隆盛言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	本島 敬 編著 第七編 法然上人言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	北島竹之助編著 第六編 司馬溫公言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	村田厚川編著 第五編 佐久間象山言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	秋山悟庵編著 第四編 林子平言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	廣瀬勸次郎編著 第三編 フレーベル言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	大屋徳城編著 第一編 弘法大師言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	波邊修二郎編著 第二編 徳川光圀言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	松原重文編著 第十編 親鸞聖人言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	四島玉峯編著 第九編 諸葛孔明言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	河面仙四郎編著 第八編 クロムウェル言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	本田無外編著 第七編 道元禪師言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	概不二火編著 第六編 伊藤仁齋言行錄 定價金貳拾五錢 郵稅四錢
---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	------------------------------	---------------------------------	--------------------------	--	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

アーカイブス原著 内外出版協會譯述 理想の母 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	マナゲツツア原著 文學士皆川正壽譯述 良人の選定 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	スウェル女史原著 本島 敬 譯述 黒馬物語 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	羽仁もと子案 家庭之友 家計簿 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	羽仁もと子案 家庭之友 主婦日記 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	文學士皆川正壽譯述 母の道 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	加藤眠柳譯述 英國士道物語 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	堺 枯川著 家庭文學 枯川隨筆 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	四洞たみの譯述 偉人に及ぼせる 婦人の感化 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	稻田輝光編著 日本女鑑 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	千河岸櫻所著 日本武士氣質 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	羽仁もと子著 家庭小話 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	博士クラント原著 文學士皆川正壽譯述 如何にして生活すべき 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	羽仁もと子著 如何に家庭計を整理すべき 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	羽仁もと子著 家庭問題 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	醫學博士加藤照慶譯述 家庭教育の實驗 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	醫學博士加藤照慶譯述 育兒法 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	醫學博士加藤照慶譯述 育兒の榮 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	醫學博士加藤照慶譯述 衛生美容術 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	伊藤カヅナ原著 ストロロ伯原著 西洋獨占 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	孫田鏡造著 幕末百話 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	宮崎三味編 はなしの仙郷 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	波多野烏峰譯 小説 愛の力 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	少年園編纂 こども 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	朝夷孤舟編 ちゑのくら 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	桑田常成譯 儉約のすゝめ 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	成澤金兵衛編 家庭遊戲全書 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	大蔵大臣認許 内外出版協會考案 國旗合せ 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	内外出版協會考案 家族合せ 定價金貳拾五錢 郵稅四錢	内外出版協會考案 室内ベースボール 定價金貳拾五錢 郵稅四錢
--	--	---	-------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	---	---------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	---	---	---------------------------------	--	------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	--	--------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	--	-----------------------------------	---------------------------------------

百島冷泉譯編 第一編 通俗文庫 天路歷程 定價金貳拾錢	百島冷泉譯編 第二編 通俗文庫 奴隸トム 定價金貳拾錢	百島冷泉譯編 第三編 通俗文庫 聖書物語 定價金貳拾錢	百島冷泉譯編 第四編 通俗文庫 赤靴物語 定價金貳拾錢	百島冷泉譯編 第五編 通俗文庫 二人巡禮 定價金貳拾錢	百島冷泉譯編 第六編 通俗文庫 漂流記 定價金貳拾錢	六。俳諧書類 附川柳狂歌書類		高濱盧子著 俳句入門 定價金貳拾錢	寒川鳳骨著 歲事記例句選 定價金五拾錢	佐藤紅綠著 俳句小史 定價金五拾錢	山田三子編 蕪村俳句全集 定價金貳拾五錢	大塚甲山編 一茶俳句全集 定價金貳拾五錢	熊谷無瀆編 天明俳句集 定價金貳拾五錢	大塚甲山編 明治新俳句集 定價金貳拾五錢	渡邊水巴編 新俳句選 定價金貳拾錢	高泉象外編 俳句語彙 定價金貳拾錢	大塚甲山編 芭蕉俳句全集 定價金貳拾五錢	熊谷無瀆編 許六俳句全集 定價金貳拾錢	大塚甲山編 元祿十家俳句集 定價金貳拾五錢	永井孤秋編 女流俳家句集 定價金貳拾五錢	佐藤紅綠編 滑稽俳句集 定價金貳拾五錢	文學士 沼波環音編 新俳諧奇調集 定價金貳拾五錢	沼波環音共編 古今名流俳句談 定價金貳拾錢	大塚甲山編 俳句選 定價金五拾錢	花岡百樹編 川柳類纂 定價金貳拾五錢	藤波樂齋編 新柳樽 定價金貳拾錢	高橋太暉編 類題狂歌大全 定價金貳拾五錢	東京外國語學校教授 片山寛著 英語の手紙 定價金貳拾五錢
--	--	--	--	--	---	-----------------------	--	----------------------	------------------------	----------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	-------------------------	----------------------	----------------------	-------------------------	------------------------	--------------------------	-------------------------	------------------------	-----------------------------	--------------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	-------------------------	---------------------------------

七。語學書類

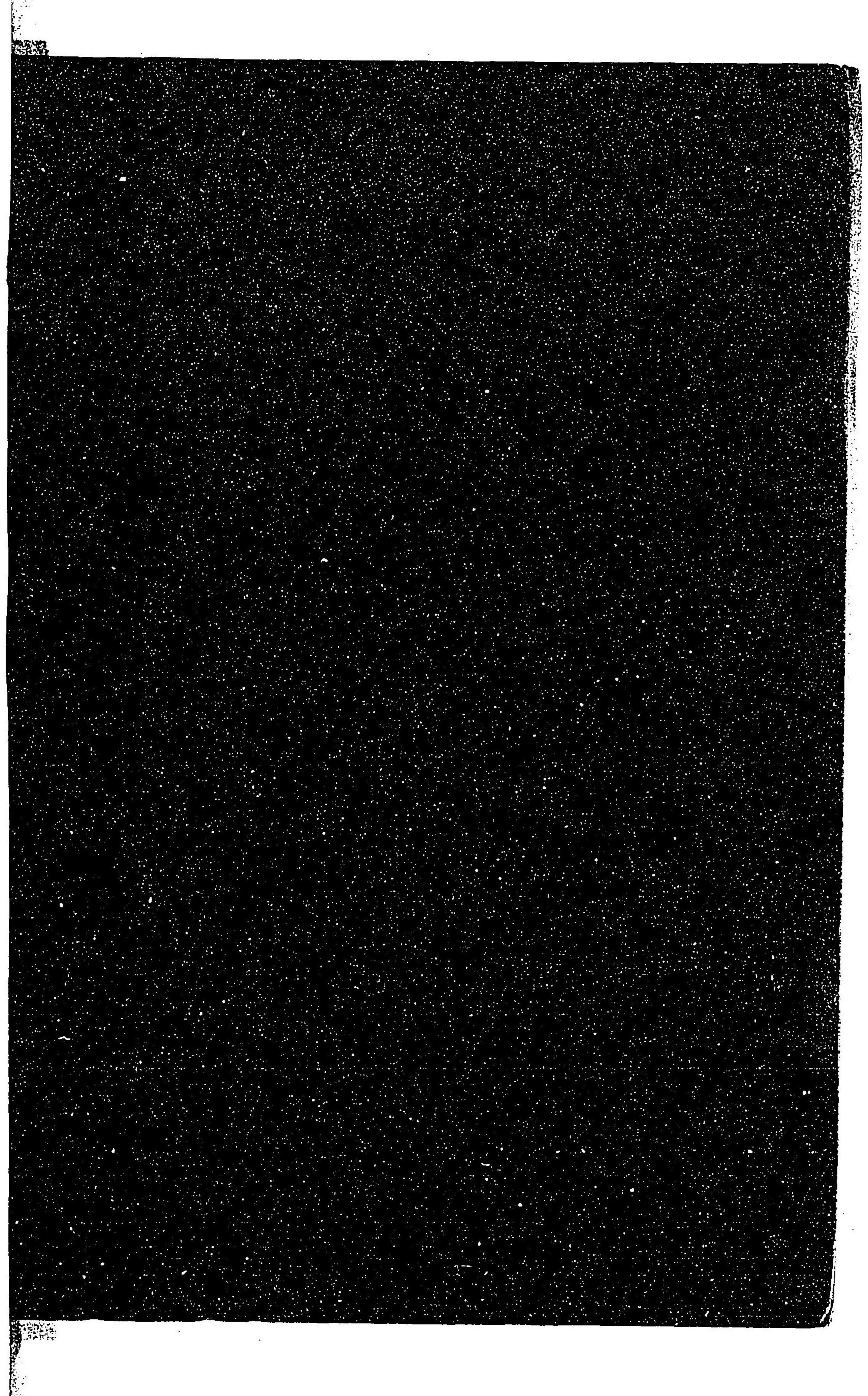
渡邊修二郎著 新英語獨案内 定價金四拾錢	渡邊修二郎著 英和日用會話 定價金四拾錢	渡邊修二郎著 英和書翰文例 定價金五拾錢	渡邊修二郎著 英語作文便覽 定價金五拾錢	四澤岩太合著 新實用英語會話 定價金五拾錢	マーマー原著 英語自修論 定價金四拾錢	山崎五十雄譯註 英文學研究 定價金四拾錢	高等師範學校教授 本田増次郎註解 英文詳解 定價金五拾錢	渡邊修二郎著 獨逸語獨案内 定價金五拾錢	サトウハチロー著 邦開國史談(別冊英) 定價金五拾錢	サトウハチロー著 邦開國史談(別冊英) 定價金五拾錢	サトウハチロー著 HISTORY OF JAPAN (英文日本近世史略) 定價金五拾錢	高等師範學校教授 本田増次郎註解 イル 英雄論詳解 定價金貳拾五錢	若松鏡子著 セーラクルー物語 定價金五拾錢	文學士皆川正壽譯註 對照希臘勇士譚 定價金四拾錢	文學士 小野野三郎註 英米名家詩抄 定價金六拾錢	文學士 皆川正壽譯註 フグネル物語 定價金六拾錢	ツルゲネーフ原作 相馬御風譯述 その前夜 定價金七拾錢	山田美妙著 博士リカアル原著 血の涙 定價金五拾錢	伊藤銀月著 東京繁昌記 定價金五拾錢	平木白星著 日本國歌 定價金四拾錢	山田美妙著 御婦人殿下 定價金貳拾錢	百島冷泉譯 トルストイ短篇集 定價金四拾錢	河井醉茗編 新集青海波 定價金五拾錢	原抱一庵譯 ABC組合 定價金拾五錢	原抱一庵譯 十二健兒 定價金貳拾錢	宮崎三味編 中學文範 定價金六拾錢	寒川鳳骨編 寫生文 定價金四拾錢
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	------------------------	-------------------------	---------------------------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	------------------------------	-----------------------	----------------------	-----------------------	--------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	---------------------

八。文學書類 附作詩作文書類

寒川風骨編著 日記文 定價金四拾錢 郵稅四錢	堺 枯川著 一致 普通文 定價金貳拾五錢 郵稅二錢	山田美妙著 一致 文例 定價金五拾錢 郵稅四錢	五十嵐越耶編新 女子文範 定價金參拾五錢 郵稅四錢	少年國編纂 詩學捷徑 定價金貳拾錢 郵稅不取	九。中等教科書類 (文部省檢定費)	文學士 佐々政一編 日本文學史要 定價金五拾錢 郵稅六錢	第三高等學校教授 文學士 林森太郎編 國語讀本 定價金五拾錢 郵稅八錢	簡野道明編 初等漢文讀本 定價金八拾錢 郵稅八錢	文學士 原勇六著 簡易西洋史 定價金七拾錢 郵稅八錢	第一高等學校教授 文學士 杉敏介著 日本小語典 定價金參拾錢 郵稅四錢	一〇。雜書 文學士 生田弘治編 讀書の趣味 定價金八拾錢 郵稅八錢	若宮卯之助編 東洋文明論 定價金四拾錢 郵稅四錢	內外出版協會編纂 袖珍百科全書 定價金壹圓廿錢 郵稅(小)八錢	工學士 後藤一郎著 寫真術全書 定價金五拾錢 郵稅六錢	波居松二郎著 自轉車全書 定價金參拾錢 郵稅四錢	關根歐庵著 演劇大全 定價金六拾錢 郵稅六錢	波邊修二郎著 各國分類年表 定價金八拾錢 郵稅六錢	大下藤次郎著 水彩畫階梯 定價金參拾錢 郵稅四錢	渡邊修二郎著 各人必携 百科節用 定價金貳拾錢 郵稅二錢	陸軍少尉中尉功四郎 工學士市川紀元二著 應用骨相學 定價金參拾錢 郵稅四錢	北澤寅之助合著 渡米案内 定價金參拾錢 郵稅四錢	成澤金兵衛合著 養蠶新書 定價金參拾錢 郵稅四錢	瀧澤彦太郎著 全國學校案内 定價金五拾錢 郵稅六錢	高田源三郎著 武井文雄 小島島水編 旅行談 定價金貳拾錢 郵稅不取	內外出版協會編纂 就業自活案内 定價金參拾錢 郵稅四錢	內外出版協會編纂 女子の新職業 定價金參拾錢 郵稅四錢
---------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	----------------------	---------------------------------------	---	-----------------------------------	-------------------------------------	---	---	-----------------------------------	--	--------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	---	-----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	---	--------------------------------------	--------------------------------------

324

158



324
158

013624-000-9

324-158

宗教大系

大屋 徳城/著

M42

ABA-0093



